

在セネガル日本国大使館月報

2024年9月

主な出来事

セネガル

(内政)

- 12日、ファイ大統領は、国民向けの演説にて、国民議会を解散し、国民議会選挙を11月17日に実施する旨述べた。(13日 Le Soleil)

(外政)

- FOCAC 出席のため中国を訪問中のファイ大統領は、3日、ファーウェイ社のデモンストレーション・センターを視察した。4日、同大統領は、習近平国家主席に迎えられ夫人とともに夕食会に出席した。5日、FOCAC の開会式で演説を行った。(3、4、5日 大統領府 X)
- 4日、ファル外務大臣は、共同議長としてFOCAC閣僚会合を王毅外交部長とともに開催した。(4日 外務省 X)
- 第79回国連総会出席のためニューヨークを訪問中のファイ大統領は、23日、ビル・ゲイツ氏とゲイツ財団とセネガルとの協力強化につき協議した。また、フリーデン・ルクセンブルク首相、ドゥ＝クロー・ベルギー首相、ルト・ケニア大統領とも会談した。(23日 大統領府 X)

ガーボベルデ

- 首相府は、中国で開催されるFOCACにコレイア・エ・シルヴァ首相が出席し、李強国務院総理と会談する他、ファーウェイ、ゴールドウイング等の企業を訪問することを公表した。(2日 opais)
- 10日、政府は地方議会選挙を12月1日に実施することを閣議決定した。(10日 balai CV)

ガンビア

- バロウ大統領は、FOCACの margins で習近平国家主席と会談し、習主席はガンビアに対する2億元(約40億円)の資金援助を行うことを公表した。(10日 The Point)
- 26日、バロウ大統領は国連総会の演説において、2017年の就任以来、ジャーナリストや権利活動家が刑務所に送られたことはなく、政治犯もいないと述べ、人権擁護の姿勢を示した。(27日 The Point)

ギニアビサウ

- 11日、エンバロ大統領は、2025年の大統領選挙に出馬しない意向を表明した。(12日 Le Soleil)
- 15日、エンバロ大統領は11日に表明していた次期大統領選挙への不出馬を撤回し、「支持者らが希望すれば、再び大統領に立候補するかもしれない」と述べた。(15日 forbes Africa lusofona)

・閣僚の官職名は適宜省略した形とする。(例:ファル・アフリカ統合・外務大臣→ファル外務大臣など)

セネガル

(内政)

内政一般

- 12日、ファイ大統領は、国民向けの演説にて、国民議会を解散し、国民議会選挙を11月17日に実施する旨述べた。(13日 Le Soleil)

(外政)

二国間・多国間関係

- 2日、中国を訪問中のファル外務大臣は FOCAC に先立ち、王毅外交部長と会談を行い、セネガルが共同議長を務める FOCAC の主題、二国間協力等について協議した。(2日 外務省 X)
- FOCAC 出席のため中国を訪問中のファイ大統領は、3日、フファーウェイ社のデモンストレーション・センターを視察した。4日、同大統領は、習近平国家主席に迎えられ夫人とともに夕食会に出席した。5日、FOCAC の開会式で演説を行った。(3、4、5日 大統領府 X)
- 4日、ファル外務大臣は、共同議長として FOCAC 閣僚会合を王毅外交部長とともに開催した。(4日 外務省 X)
- 5日、ファイ大統領は、FOCAC のマージンでンゲマ赤道ギニア大統領、サス=ンゲソコンゴ共和国大統領と会談を行った。(5日 大統領府 X)
- 6日、ファイ大統領は北京で第8回中国・アフリカ起業家会議に出席し、中国による投資を呼びかけた。同日、山東省済南市において農業化学アカデミーを視察し、7日、青島港と家電メーカーの Haier 社を視察した。(6、7日 大統領府 X)
- 第79回国連総会出席のためニューヨークを訪問中のファイ大統領は、23日、ビル・ゲイツ氏とゲイツ財団とセネガルとの協力強化につき協議した。また、フリーデン・ルクセンブルク首相、ドゥ・クロウ・ベルギー首相、ルト・ケニア大統領とも会談した。(23日 大統領府 X)
- 24日、ファイ大統領はプリンケン米国务長官と経済協力について協議し、25日、IMF のゲオルギエバ専務理事、FIFA のインファンティーノ会長と会談した。(25日 大統領府 X)
- 25日、ファイ大統領は国連総会で演説し、26日、グテーレス事務総長と会談した。(25、26日 大統領府 X)

(経済)

経済一般

- 13日、ファイ大統領は、「衛星の第一日」と題する式典を主催し、セネガルにおいて宇宙センターを創設し、宇宙関連企業のエコシステムを構築する意思を表明した。(14日 Le Soleil)
- 5-12日、IMF はセネガルを訪問し、2024年上半期のセネガル経済指標及び下半期の経済見通しを示した。2024年の実質 GDP 成長率は6.0%と予想した(6月の7.1%から下方修正)。(14日 Le Soleil)
- 27日、国連総会出席のため訪米中のファイ大統領は AI 分野を主導する NVIDIA 社を訪問し、セネガルをアフリカの AI のパイオニアとする意向を示した。また、28日、スターリンク社を訪問し、衛星分野での協力について意見交換した。(27、28日 大統領府 X)

カーボベルデ

- 首相府は、中国で開催されるFOCACにコレイア・エ・シルヴァ首相が出席し、李強国務院総理と会談する他、ファーウェイ、ゴールドウイング等の企業を訪問することを公表した。(2日 opais)
- 7日、コレイア・エ・シルヴァ首相は、北京での李強国務院総理との会談を受けて、中国がカーボベルデに対し2,560万ユーロの資金援助を行うことを公表した。(7日 Espresso das Ilhas)
- 10日、政府は次期市議会選挙を12月1日に実施することを閣議決定した。(10日 balai CV)
- 保健省は、14日から16日の間に、デング熱の感染者が新たに105例確認され、3900件の感染者を国内に抱えることを公表した。(17日 expresso das ilhas)
- 18日、保健省はプライア市及びモステイロス市で、デング熱による死者が2名発生したことを公表した。(20日 balai CV)
- 19日、政府は、公的債務の残高が対GDP比で108%(前年同期比-2.6%)に下がったことを発表した。(19日 balai CV)
- 20日、ネーヴェシュ大統領は、第79回国連総会出席のため、訪米を開始した。(20日 balai CV)
- 26日、ソアレシュ外務大臣が辞表を提出した。次期外務大臣には、EU代表部大使を務めるジョゼ・フィロメノ・モンテイロの名が挙がっている。(26日 A Nacao)

ガンビア

- 1日、タンガラ外務大臣は、サウジアラビアの外務大臣とパレスチナ問題について協議すべく電話会談を行った。(3日 The Point)
- 2日、国連と世界銀行は、ガンビアの安全保障、ガバナンス、開発をテーマに「ガンビアにおける平和と繁栄:問題と今後の見通し」と題する3日間のシンポジウムを開始した。(3日 The Point)
- 4日、バロウ大統領はFOCACのマージンで、石油・エネルギー省と中国TBEA社の間で結ばれたグリーン・エネルギーセクターに関するMOU署名式に同席した。(5日 The Point)
- バロウ大統領は、FOCACのマージンで習近平国家主席と会談し、習主席はガンビアに対する2億元(約40億円)の資金援助を行うことを公表した。(10日 The Point)
- 18日、国民議会はシエラレオネのECOWAS安定化ミッションに貢献するため、150人のガンビア軍を派遣することについて審議した。(18日 The Point)
- 26日、バロウ大統領は国連総会の演説において、2017年の就任以来、ジャーナリストや権利活動家が刑務所に送られたことはなく、政治犯もいないと述べ、人権擁護の姿勢を示した。(27日 The Point)

ギニアビサウ

- 5日、FOCAC出席のため中国を訪問中のエンバロ大統領は、同フォーラムは世界のビジョンを明確化する上で新たなパラダイムを打ち立てるものとなるとの賛辞を表明した。(6日 ang gw)
- 11日、エンバロ大統領は、2025年の大統領選挙に出馬しない意向を表明した。(12日 Le Soleil)
- 15日、エンバロ大統領は11日に表明していた次期大統領選挙への不出馬を撤回し、「支持者らが希

望すれば、再び大統領に立候補するかもしれない」と述べた。(15日 forbes Africa lusofona)

- 20日、国民議事堂が国家警備隊の兵士に占拠され、国会議員や職員の出入りが妨害される事件が発生した。(20日 DW)
- エンバロ大統領は、国連総会の演説において、国際金融の改革が必要である旨訴えた。(25日 DW)

(注) 本月報は、セネガル、カーボベルデ、ガンビア、ギニアビサウの報道を当館限りでまとめたものです。記事内容は、日本政府やセネガル政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。

(了)